



笑顔いっぱい

長子配付

令和5年度2月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

学ぶことは楽しいことだと実感し、夢や志をもち、意欲的に取り組む児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

何かできることは・・・

1月1日(月・祝)16時06分、能登半島地震が起きました。230名を超える方がお亡くなりになっています。心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、家屋の倒壊、水道や電気の遮断などで、避難生活を余儀なくされている方々も多くおられます。心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を祈念いたします。

武雄市は、令和元年と令和3年に2回の大雨の浸水被害を受けました。土砂の除去や家財の搬出、食料の配布、義援金など、県内外の方に大変お世話になりました。

そこで、1月9日(火)の全校朝会で、被災された方に対して「私たちにできることは何かないでしょうか?」と問いかけました。子どもたちはすぐに反応し、6年生を中心に募金活動を行ってくれました。募金で集まった額は、約15万円となり、被災地に全額を送ります。



ふれあい道徳の授業参観

1月19日(金)の5時間目に道徳の授業参観(ふれあい道徳)を行いました。ご参観、ありがとうございました。また、6年生は、卒業に向けた保護者会も開催されました。

さて、道徳の時間は、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てることが目標です。そのために1時間の中で、以下のような学習をすることになります。

- ①「節度」「友情」「生命尊重」「公德心」など、学習する価値を理解する。
- ②これまでの自分を見つめ、これからの自分のあり方を考えていく。
- ③意見を聞いたり議論したりして多面的・多角的に考える。



また、考えが多様化する社会の中で、答えが一つではないこともあること、守るべきこと、優先すべきこと、みんなが納得することなど、人としてよりよい生き方やあり方を学ぶ時間です。

道徳の時間は、ダンスに衣服の種類や色を増やしていくような時間です。季節や天候、行事に合わせてダンスの中から適切な衣服を選びます。同様に、これから出会うであろう様々な場面において、よりよい判断力や心情、意欲と態度ができるような力を身に着ける時間なのです。

可能であれば、道徳の授業内容がご家庭での話題にのぼり、親子や兄弟姉妹で意見を交わし、将来出会うであろう出来事に対する選択できる力(衣類の種類や色)を増やしていただければ幸いです。

校庭のトイレ



学校の運動場や体育館は、申請により、社会教育等で使用することができます。運動場は、少年野球や地区のグラウンドゴルフ大会、体育館は、剣道やバレー、大人のダンスやラージテニス、春祭り・秋祭りなどです。使用後は、きれいに整理や掃除をしてもらっています。

プールと旧武雄保育園の間にあるトイレを少年野球の関係者の方が年末にきれいに掃除をしてくださっていました。そして、「感謝」と書かれたトイレレットペーパーを置いていただけていました。心が温かくなりました。ありがとうございました。